



# 秋吉台国定公園 (美祿市)

今回は、日本最大のカルスト台地を誇る『秋吉台国定公園』を歩きます！

## 知っ得情報！ 秋吉台カルスト展望台

- ・駐車場：近くに有り
- ・トイレ：有り(若竹山近くにもトイレ有り)
- ・所在地：美祿市秋芳町秋吉

長者ヶ森近くのカルストロード沿いにも駐車場・トイレ有り

国の特別天然記念物にも指定されている秋吉台のカルスト台地は、秋吉台科学博物館付近を起点に遊歩道が整備されているので、自由に散策することができます。

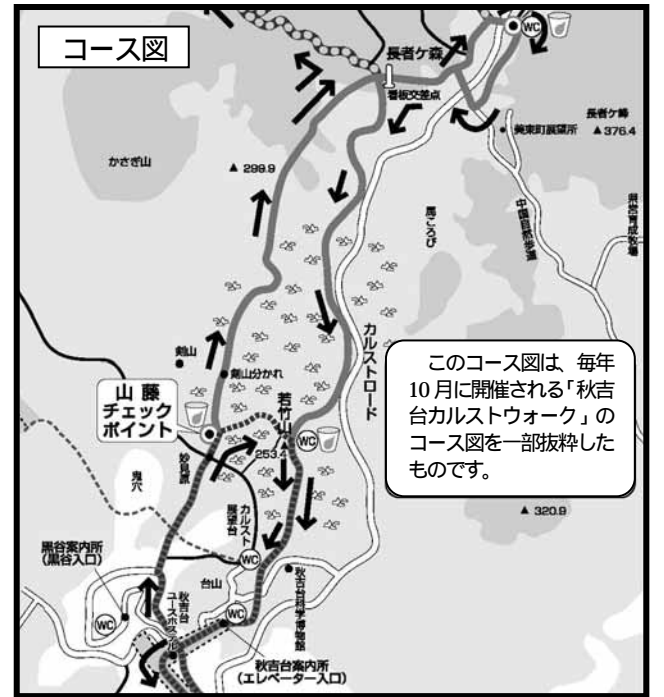
今回は、秋吉台カルスト展望台～妙見原(みょうけんばら)～若竹山～科学博物館のルートで歩きました！

## ■新緑の季節を満喫

山口県の代表的な名所の1つである秋吉台。ちょうど新緑の最も美しい季節を迎えているということで、今回取材先に決めました。

草原の保全などを目的に行われる山焼きを2月に終え、黒く焼けた姿から、新緑の衣をまとったカルスト台地は訪れる人も多く、取材した日も小学生の子どもたちが、遠足や修学旅行等でたくさん訪れていました。

秋吉台カルスト展望台近くの駐車場に車をとめて、早速ウォーキング開始です！



このコース図は、毎年10月に開催される「秋吉台カルストウォーク」のコース図を一部抜粋したものです。

## ■秋吉台自然研究路

美祿市観光振興課の方からご提供いただいた「秋吉台カルストウォーク 2008」のコース図を手に、まずは妙見原を目指します。

展望台を出て左に進むと、「秋吉台自然研究路」の看板を発見！「研究」という言葉に惹かれ、そのまま案内板の方向へ進みます。このルートには、所々に秋吉台に関するクイズが書かれたパネルが設置してあるので、問題を考えながら歩くことができます。ですが、このパネルの番号で終点からまわっていたことが判明、構わずそのまま歩くことにしました。

解放感あふれる広大なカルストの景色と、かわいい花々にカメラのシャッターを押す指が止まりません。草原が広がる妙見原では、日々のパソコン作業で疲れた目をしばし休めます。



ゆるやかな下り道をしばらく歩くと、今度は上りの道が続きます。途中、石灰岩の隙間から力強いのびる雑草が目にとまりました。どんな環境でも強く生きているその姿に、感動しました。

若竹山の方向を指し示す案内板に沿って、右方向の道へと進むと、一面黄色い花で埋め尽くされた場所がありました。ひとつひとつはとても小さな花なのですが、群生していると迫力があります。

ふと気付くと、歌うように鳴く鳥の声が聞こえます。鳴き声というより、「歌う」という表現がぴったりの声！まさに「自然のBGM」です。あとでこの声の主が「ヒバリ」だとわかりました。



ニワゼキショウ

アキオシアザミ

ハナニガナ



セイヨウミヤコグサ

カノコソウ

タツナミソウ

## ■若竹山でご対面

牧草地にいる「羊」に模される石灰岩を見渡しなが、徐々に傾斜が緩やかになってきた道を一気に上がります。

頂上では、心地よい風に吹かれながら少し休憩タイム。その時、ずっと会いたかったヒバリにご対面！若竹山でもご機嫌な様子で、歌声を聞かせてくれました。

今回歩いた全長約2kmのルートは、景色や花を見ながらのウォーキングだったためか、あっという間にゴール地点に到着したような気がします。

最終地点の秋吉台科学博物館では、パネルに記載されているクイズの解答を見ることができるので、時間がある方はぜひお立ち寄りください。

私たちはもう1度景色を味わうために、展望台に上がってから帰路につきました。



途中、野焼きで焼けた箇所もありましたが、カルスト台地は一面緑の絨毯を敷いたような状態で、植物の生命力の強さを感じずにはいられません。

私たちがその声で魅了した「ヒバリ」です。



開放感いっぱいの今回の秋吉台は、ウォーキングだけでなく、日頃のストレス発散にもお勧めのコースです。ご紹介したのは遊歩道のほんの一部なので、自分の体力にあわせて距離をのぼしたり、高低の差が大きいコースにもチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。

適度に休みながら、からだにも心にもいい、休日ならではのウォーキングをお楽しみください。

ただし、歩くときは植生を妨げないように、整備された遊歩道を利用しましょう。

花々に誘われて、蜂が飛んでいるのでご注意ください！

今回の取材では  
2,067 歩  
歩きました！



まんぼ